

事務事業名	環境衛生事務事業		事業コード	04010300101		
所管部署	環境推進課	電話	50-3032		記入者名	小倉 渉
事業対象	市民					
総合計画	基本構想	美しい自然と共生するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	自然環境の保全と共生		事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	死亡犬等回収委託	
根拠法令	有	福井県動物の愛護および管理に関する条例 墓地、埋葬等に関する法律 公衆浴場法				
根拠例規	無	坂井市墓地、埋葬等に関する法律施行細則 公衆浴場基準条例				
関連計画・マニュアル	無					

【事業の概要】

【死亡犬等処置】・・・路上に放置された死亡犬等の回収・供養や苦情対応など、動物愛護及び公衆衛生の向上を図るほか、そ族・昆虫の原因で公衆衛生が確保されず個人又は区での対応が困難であるときは不衛生な状態を解消するように努める。【公衆浴場設備整備事業】・・・公衆衛生上の見地から、浴場経営の安定化を図り、市民の入浴の確保を図る。【旧町営火葬場の管理】・・・旧町営火葬場の跡地処置については、賃借料を支出し、適正な維持管理に努めている。【墓地・納骨堂・火葬場の許可業務】・・・市町に事務移管された墓地等の許可・廃止等の業務を公衆衛生・公共の福祉の向上を目指して行なう。

○委託料  
・死亡犬等回収委託料 3,962千円

○使用料及び賃借料  
・火葬場跡地借上料（丸岡） 72千円

○補助金  
・公衆浴場設備整備事業費補助金 114千円

【事業の目的・事業の概要等】

すぐに行ける改善提案	処理業者との連携を強化し、迅速な処理体制を整えていきます。また、現在、県道の動物死体処理を市が行っていますが、本来は道路管理者である県が処理すべきものであるため、県との協議を行います。
目標年度 平成27 年度	
取組状況	公共の場での死亡犬等の回収業務を迅速に行うことにより、公衆衛生の向上に努めていきます。
中長期的に取り組むべき改善提案	飼育されていない猫（野良猫）について何らかの対処方法等の検討を行う必要があります。
目標年度 平成29 年度	
取組状況	無責任な給餌をしている行為者に対して指導を行い、他の市民に対しても広報媒体等を用いて広く周知を行っていきます。

【前年度改善案に対する取組状況】	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
【担当者評価】	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
【有効性】	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

予算	款	衛生費	項	保健衛生費	目	環境衛生費						
【事業のコスト】	コスト	事業費	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度			
			報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			委託費	3,961 千円	3,380 千円	千円	千円	千円				
			需用費	千円	6 千円	千円	千円	千円				
			役務費	千円	千円	千円	千円	千円				
			その他	186 千円	72 千円	千円	千円	千円				
			事業費合計	4,147 千円	3,458 千円	千円	千円	千円				
			人件費	正職員	0.82 人	5,829 千円	0.65 人	4,621 千円	人	千円	人	千円
				臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
				人件費合計	0.82 人	5,829 千円	0.65 人	4,621 千円	人	千円	人	千円
	総事業費	9,976 千円	8,079 千円	千円	千円	千円	千円					
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円					
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円					
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円					
			地方債	千円	千円	千円	千円					
その他			千円	千円	千円	千円						
一般財源			9,976 千円	8,079 千円	千円	千円						
財源合計	9,976 千円	8,079 千円	千円	千円								

事業の方向性	改善して継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	事故等による犬猫等の死骸処理は、年々増加傾向にあります。処理については、動物愛護及び衛生上も必要であることからこのまま継続します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	公衆衛生、公共福祉の観点からも市が実施主体となります。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	動物死骸の処理費用については、近年処理量が増えてきているなか処理単価を据え置いて対応しています。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状の体制を維持します。			
すぐに行ける改善提案	動物死骸処理については、迅速な対応を行うとともに処理後の連絡体制も整備していきます。			
目標年度	--	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案	飼育されていない猫（野良猫）に、餌を与えてしまうことで住みついてしまい、自然増加につながり周辺住民からの苦情原因となることが多いので、今後対処方法等の検討が必要です。			
目標年度	平成31	年度		

	指標名	単位	年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度				
成果	死亡犬等回収件数	件	目標値	300	達成率	300	達成率				
			実績値	474	158	416	138.67	340	113.33	366	122
成果	墓地等の新設・廃止等の許可件数	筆	目標値	0	達成率	0	達成率				
			実績値	0	---	0	---	2	66.67	0	---
活動	広報件数（飼養者啓発）	件	目標値	10	達成率	10	達成率				
			実績値	2	20	2	20	2	20	3	30
活動	借地筆数	筆	目標値	2	達成率	2	達成率				
			実績値	2	100	2	100	2	100	2	100
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率				
			実績値								
			目標値		達成率		達成率				
			実績値								

事務事業名	赤坂聖苑管理運営事業			事業コード	04010305101		
所管部署	環境推進課	電話	50-3032	記入者名	津田 金也		
事業対象	市民						
総合計画	基本構想	美しい自然と共生するまちづくり		事業区分	自治事務（義務的なもの）		
	基本計画	自然環境の保全と共生		事業種別	指定管理者事業		
実施主体	指定管理者	実施手段	業務の全部を委託	委託内容	火葬・待合業務、施設の保守管理		
根拠法令	有	墓地、埋葬等に関する法律					
根拠例規	有	坂井市赤坂聖苑条例・同条例施行規則					
関連計画・マニュアル	無						
事業の概要	赤坂聖苑での火葬業務や運営管理等を指定管理者に委託し、火葬を支障なく行うとともに市民の公衆衛生の向上を図る。						
	赤坂聖苑の業務運営（火葬・待合）及び施設管理を指定管理者に委託し、民間事業者による効率的かつ専門的な運営を行った。 指定管理者：(株)法美社坂井支店（平成25年度～平成29年度）						
事業の目的・事業の概要等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○需用費 <ul style="list-style-type: none"> <li>・火葬許可申請書等印刷費 74千円</li> <li>・制御盤計装機器修繕料 4,482千円</li> <li>・通路補修費 170千円</li> </ul> </li> <li>○役務費 <ul style="list-style-type: none"> <li>・火災保険料 55千円</li> </ul> </li> <li>○委託料 <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者委託料 41,600千円</li> </ul> </li> <li>○工事請負費 <ul style="list-style-type: none"> <li>・火葬炉耐火物積替工事費 8,640千円</li> </ul> </li> <li>○負担金 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元協力負担金 500千円</li> </ul> </li> </ul>						

【事業の概要】

【事業のコスト】

予算	款	衛生費	項	保健衛生費	目	環境衛生費					
コスト	事業費	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度			
		報酬	千円		千円		千円		千円		
		委託費	41,600千円		40,380千円		千円		千円		
		需用費	4,726千円		3,098千円		千円		千円		
		役務費	55千円		55千円		千円		千円		
		その他	9,140千円		500千円		千円		千円		
	事業費合計	55,521千円		44,033千円		千円		千円			
	人件費	正職員	0.50人	3,555千円	0.50人	3,555千円	人	千円	人	千円	
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円	
		人件費合計	0.50人	3,554千円	0.50人	3,554千円	人	千円	人	千円	
	総事業費	59,075千円		47,587千円		千円		千円			
	事業費	特定財源	国県支出金	千円		千円		千円		千円	
			使用料・手数料	10,068千円		9,668千円		千円		千円	
分担金・負担金			千円		千円		千円		千円		
地方債			千円		千円		千円		千円		
その他			千円		千円		千円		千円		
一般財源		49,007千円		37,919千円		千円		千円			
財源合計	59,075千円		47,587千円		千円		千円				

【事業の成果】

指標名		単位	年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	
成果	指定管理委託料	千円	目標値	41600	達成率 40380	41714	達成率 41616	
			実績値	41600	100	40380	100	41714
成果	待合室利用件数	件	目標値	95	達成率 95	90	達成率 80	
			実績値	165	173.68	96	101.05	83
活動	苦情等対応件数	件	目標値	0	達成率 0	0	達成率 0	
			実績値	0	---	0	---	0
活動	モニタリング実施回数	回	目標値	3	達成率 3	3	達成率 3	
			実績値	3	100	3	100	3
活動	アンケート回収件数	件	目標値	100	達成率 100	100	達成率 100	
			実績値	126	126	76	76	113
活動	火葬件数	件	目標値	760	達成率 750	750	達成率 750	
			実績値	708	93.16	702	93.6	763

すぐにできる改善提案	利用頻度が少ない待合室の活用について、指定管理者へ提案を求めます。		
目標年度 平成26年度			
取組状況	待合室を改修し、小規模葬儀いわゆる家族葬の実施ができるようになった。このことにより、低価格での葬儀が可能となり、利用者への質の高いサービスの提供につながっている。		
中長期的に取り組むべき改善提案	広域連合が所管している代官山斎苑と赤坂聖苑の火葬費用等について、組織構成の違いによる格差があることから、今後も差額改善に向けた検討を行っていきます。		
目標年度 平成29年度			
取組状況	赤坂聖苑での管内住民は、丸岡町、春江町、坂井町で使用料は10,000円、準管内住民は、三国町で使用料は20,000円となっている。代官山斎苑での管内住民は、三国町、あわら市で使用料は10,000円、準管内住民は、丸岡町、春江町、坂井町で使用料は20,000円となっている。同じ坂井市民であっても施設により使用料が異なっていますので、今後、状況に応じて検討も必要であると思われます。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

【担当者評価】

【所属長評価】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	今後も指定管理により、効率的・専門的に事業を継続します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	実施主体は、民間事業者で行います。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	複数年の指定管理委託を行い、更新ごとに管理料の見直しを行います。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状の人員で対応します。			
すぐにできる改善提案	待合室の利用促進を指定管理者に求めます。			
目標年度 平成26年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	広域連合が所管している代官山斎苑との火葬費用等について、組織構成の違いから差が生じていることから、今後統一に向けた検討を行う必要があります。			
目標年度 平成31年度				

事務事業名	坂井地区広域連合事業(斎苑)			事業コード	04010305106
所管部署	環境推進課	電話	50-3032	記入者名	津田 金也
事業対象	市民				
総合計画	基本構想	美しい自然と共生するまちづくり		事業区分	自治事務(義務的なもの)
	基本計画	自然環境の保全と共生		事業種別	ソフト事業
実施主体	その他	実施手段	業務の全部を委託	委託内容	火葬・待合業務
根拠法令	有	墓地、埋葬等に関する法律			
根拠例規	有	代官山斎苑の設置及び管理に関する条例・同施行規則			
関連計画・マニュアル	無				

【事業の概要】

坂井地区広域連合が代官山斎苑(旧三国町、あわら市管内市民)の火葬業務や墓地等の運営を行うことで、市民の公衆衛生の向上を図る。

○負担金 16,329千円

坂井市負担分		
・均等割 (10%分)	1,875千円	
・火葬件数割 (90%分)	14,454千円	
合計	16,329千円	

【事業の目的・事業の概要等】

すぐにできる改善提案	指定管理者に利用頻度の少ない待合室などについて、利用促進の提案等を求めます。
目標年度 平成26 年度	
取組状況	赤坂聖苑同様、待合室を利用して小規模葬儀いわゆる家族葬ができるようになり、市民のサービスの向上を図っている。
中長期的に取り組むべき改善提案	赤坂聖苑との利用料金等において格差があるため、今後検討していく必要があります。
目標年度 平成29 年度	
取組状況	市が管理する赤坂聖苑の維持管理経費や運営状況と比較しながら、市民への質の高いサービスの向上を図る。

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？(国、県、民間の活動と重複していませんか？)	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力(民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等)を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？(事業の成果が十分に上がっていますか？)	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

予算	款	衛生費	項	保健衛生費	目	環境衛生費					
コスト	事業費	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度			
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
		その他	16,329千円	14,980千円	千円	千円	千円	千円			
		事業費合計	16,329千円	14,980千円	千円	千円	千円	千円			
		人件費	正職員	0.40人	2,844千円	0.40人	2,844千円	人	千円	人	千円
			臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
			人件費合計	0.40人	2,844千円	0.40人	2,844千円	人	千円	人	千円
	事業費	総事業費	19,173千円	17,824千円	千円	千円	千円	千円			
		特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
その他			千円	千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源		19,173千円	17,824千円	千円	千円	千円	千円				
財源合計	19,173千円	17,824千円	千円	千円	千円	千円					

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	指定管理者制度の導入により、効果的・専門的に事業運営を行います。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	実施主体は、民間事業者とします。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	複数年の指定管理契約を行っていますので、更新まで維持します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状の人員体制を維持します。			
すぐにできる改善提案	待合室の利用促進について、管理者に提案を求めます。			
目標年度 平成26 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	管内、準管内者の火葬等において、赤坂聖苑との利用料金等の検討を行う必要があります。			
目標年度 平成31 年度				

【事業の成果】	成果	負担金	指標名	単位	年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	
			目標値	千円	12000	達成率	12000	達成率	12000	達成率
	実績値	16329	136.07	14980	124.83	11758	97.98	11933	99.44	
	活動	墓地区画貸付件数(三国町)	目標値	件	10	達成率	10	達成率	10	達成率
			実績値	9	90	6	60	7	70	4
	活動	火葬件数(三国町)	目標値	件	250	達成率	250	達成率	250	達成率
			実績値	283	113.2	277	110.8	275	110	287
			目標値		達成率		達成率		達成率	
			実績値							
			目標値		達成率		達成率		達成率	
			実績値							
			目標値		達成率		達成率		達成率	
		実績値								

事務事業名	狂犬病予防事業		事業コード	04010310101	
所管部署	環境推進課	電話	50-3032	記入者名	小倉 渉
事業対象	市民及び犬の飼養主				
総合計画	基本構想	美しい自然と共生するまちづくり		事業区分	自治事務（義務的なもの）
	基本計画	自然環境の保全と共生		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	犬の登録、予防注射接種業務
根拠法令	有	狂犬病予防法			
根拠例規	有	坂井市狂犬病予防法の施行に関する規則			
関連計画・マニュアル	無				

【事業の概要】

狂犬病予防法に基づき、畜犬の登録と狂犬病の予防接種を飼い主に義務づけ、狂犬病の発生と蔓延の防止を図る。

接種率の向上と飼い主の利便性向上のため、毎年5月に巡回により集団予防接種を実施する。また、集団予防接種以外の登録及び予防接種は(社)福井県獣医師会に委託し事務の効率化を図っている。

【発行数】  
鑑札：261件  
注射済証：2,965件

事業の目的・事業の概要等

- 需用費
  - ・鑑札、注射済票他 107千円
  - ・フン害防止看板 35千円
- 役務費
  - ・集合注射案内郵便料 230千円
- 委託料
  - ・犬の登録事務等委託料 709千円

すぐに行ける改善提案	現在、巡回により時間指定で予防接種を実施しているところですが、事務の効率化を考慮し地域を集約した中での接種について検討します。また、狂犬病予防接種の啓発普及について継続的に行い、広報媒体等の活用により接種率の向上に努めます。
目標年度 平成27 年度	
取組状況	平成27年度から集団接種の日程調整により、接種日を前年比2日間短縮しました。これにより事務負担の軽減が図られました。また、前年までは年1回であった狂犬病予防接種の周知について、平成27年度には2回実施しました。
中長期的に取り組むべき改善提案	原簿登録がなされていない畜犬の登録と狂犬病予防接種を促すことで、実質的な予防接種率を上げることが必要です。
目標年度 平成30 年度	
取組状況	広報等で畜犬の登録と予防接種を定期的に市民に呼びかけます。

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

予算	款	衛生費	項	保健衛生費	目	環境衛生費					
コスト	事業費	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度			
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	709	千円	700	千円	千円	千円	千円		
		需用費	142	千円	120	千円	千円	千円	千円		
		役務費	230	千円	200	千円	千円	千円	千円		
		その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	1,081	千円	1,020	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.91	人	6,469	千円	0.74	人	5,261	千円	
		臨時職員	0.00	人	千円	千円	人	千円	千円	千円	
		人件費合計	0.91	人	6,469	千円	0.74	人	5,261	千円	
		総事業費	7,550	千円	6,281	千円	千円	千円	千円	千円	
		事業費	特定財源	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			使用料・手数料	1,081	千円	1,020	千円	千円	千円	千円	千円
分担金・負担金	千円		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
地方債	千円		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
一般財源	6,469	千円	5,261	千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計	7,550	千円	6,281	千円	千円	千円	千円	千円			

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	狂犬病予防法に基づき実施します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	獣医師会の協力を仰ぎ、連携しながら実施します。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	接種率の向上による経費増を、事務効率化によりカバーすることで、最小のコストで効果的に事業を行います。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状の体制を維持します。			
すぐに行ける改善提案	時間指定による巡回により予防接種を実施しているが、地域を集約し事務の効率化を目指します。			
目標年度 平成28 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	狂犬病予防接種の啓発普及について継続的に行い、動物病院との連携を密にし、個別接種の利便性を広く周知し接種率向上に努めていきます。			
目標年度 平成31 年度				

指標名	単位	年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度		
成果	%	目標値	70	達成率 70	達成率 70	達成率 70		
		実績値	68.0	97.14	66.6	95.14	66.6	95.14
成果	件	目標値	3000	達成率 3000	達成率 3000	達成率 3000		
		実績値	2965	98.83	2974	99.13	2892	96.4
活動	件	目標値	350	達成率 350	達成率 360	達成率 380		
		実績値	261	74.57	341	97.43	359	99.72
活動	回	目標値	1	達成率 1	達成率 1	達成率 1		
		実績値	1	100	1	100	1	100
		目標値		達成率	達成率	達成率		
		実績値						
		目標値		達成率	達成率	達成率		
		実績値						

【事業の概要】

【事業のコスト】

【事業の成果】

【前年度改善案に対する取組状況】

【担当者評価】

【所属長評価】

事務事業名	公害対策事業			事業コード	04010400101		
所管部署	環境推進課		電話	50-3032		記入者名	佐藤 貴史
事業対象	市民						
総合計画	基本構想	美しい自然と共生するまちづくり			事業区分	自治事務（義務的なもの）	
	基本計画	公害対策の推進			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市		実施手段	市が直接実施		委託内容	
根拠法令	有	環境関係諸法令					
根拠例規	有	坂井市環境基本条例、坂井市環境保全条例					
関連計画・マニュアル	有	坂井市環境基本計画					
事業の概要	<p>大気や水質等環境の状況及び協定事業所等の協定項目を定期的、継続的に分析調査することにより、公害の未然防止を図り、市民が健康で安全かつ快適な生活を営むことができる自然環境、生活環境を確保します。</p>						
	事業の目的・事業の概要等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○旅費（工場視察） 33千円</li> <li>○需用費 239千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・消耗品費（公害対策消耗品他） 73千円</li> <li>・光熱水費（大気汚染観測局電気料） 166千円</li> </ul> </li> <li>○役務費（電話料、火災保険料他） 143千円</li> <li>○委託料 7,788千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・テレメーターシステム保守委託料 464千円</li> <li>・大気汚染測定機保守委託料 3,003千円</li> <li>・煙道排ガス検査の実施 130千円</li> <li>・河川水検査の実施 284千円</li> <li>・工場排水検査の実施 369千円</li> <li>・残留農薬検査の実施 50千円</li> <li>・地下水検査の実施 821千円</li> <li>・悪臭検査の実施 1,555千円</li> <li>・ダイオキシン類検査の実施 594千円</li> <li>・自動車騒音監視調査 519千円</li> </ul> </li> </ul>					

【事業の概要】

【事業のコスト】

【事業の成果】

予算	款	衛生費	項	保健衛生費	目	環境保全費					
コスト	事業費	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度			
		報酬	千円		千円		千円		千円		
		委託費	7,788千円		9,816千円		千円		千円		
		需用費	239千円		654千円		千円		千円		
		役務費	143千円		140千円		千円		千円		
		その他	33千円		580千円		千円		千円		
		事業費合計	8,203千円		11,190千円		千円		千円		
	人件費	正職員	0.86人	6,044千円	0.84人	5,972千円	人	千円	人	千円	
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円	
		人件費合計	0.86人	6,044千円	0.84人	5,972千円	人	千円	人	千円	
	事業費	総事業費	14,247千円		17,162千円		千円		千円		
		特定財源	国県支出金	千円		千円		千円		千円	
			使用料・手数料	千円		千円		千円		千円	
			分担金・負担金	千円		千円		千円		千円	
地方債			千円		千円		千円		千円		
その他			1,889千円		1,837千円		千円		千円		
一般財源		12,358千円		15,325千円		千円		千円			
財源合計	14,247千円		17,162千円		千円		千円				

指標名	単位	年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	
成果	環境保全項目達成率	目標値	100	達成率 100	達成率 100	達成率 100	
		実績値	100	100	100	99.5	99.5
成果	苦情調整件数	目標値	0	達成率 0	達成率 0	達成率 0	
		実績値	80	21	93	117	---
活動	立入調査企業数（排出規制）	目標値	-	達成率 -	達成率 -	達成率 -	
		実績値	43	52	47	44	---
		目標値		達成率	達成率	達成率	
		実績値					
		目標値		達成率	達成率	達成率	
		実績値					
		目標値		達成率	達成率	達成率	
		実績値					

すぐにできる改善提案	年々苦情が増加している騒音、悪臭等の感覚公害の早期解決に努めます。		
目標年度 平成26年度			
取組状況	発生状況を聞き取りおよび現場で確認し、発生源を早急に特定し発生源者に対し指導を行いました。		
中長期的に取り組むべき改善提案	市民が健康で安全かつ快適な生活を営むことができるよう、公害の未然防止を図っていくとともに、事業所等への監視指導に努めます。		
目標年度 平成30年度			
取組状況	事業所からの排水について毎年調査を行っており、基準違反を確認した事業所について改善の指導を行いました。今後も基準違反事業者に対しては、改善報告書を提出させ公害の未然防止を図っていきます。		

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

事業の方向性	このまま継続します。		目標年度	--	年度を目安
判断事由	大気や水質など環境状況を常に把握するとともに、分析調査等を継続して行い、法律等が遵守されているか継続的に監視していきます。				
実施主体の方向性	現状どおり実施します。		目標年度	--	年度を目安
判断事由	行政以外は考えられません。				
コスト投入の方向性	現状を維持します。		目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状の範囲のなかで、最大の効果が発揮できるよう目指します。				
人員投入の方向性	現状を維持します。		目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状の体制を維持します。				
すぐにできる改善提案	騒音、悪臭等の感覚公害と言われる苦情が、年々増加しており対応に苦慮しているが、誠意をもって早期解決に努めます。				
目標年度 平成26年度					
中長期的に取り組むべき改善提案	市民が健康で安全かつ快適な生活を営むことができるよう、公害の未然防止を図るとともに、事務所等への監視指導にも努めます。				
目標年度 平成31年度					

【所属長評価】

事務事業名	環境保全事務事業			事業コード	04010405101		
所管部署	環境推進課	電話	50-3032	記入者名	佐藤 貴史		
事業対象	市民						
総合計画	基本構想	美しい自然と共生するまちづくり			事業区分	自治事務（義務的なもの）	
	基本計画	循環型社会の構築			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	有	環境基本法					
根拠例規	有	坂井市環境基本条例					
関連計画・マニュアル	無						
事業の目的・事業の概要等	市環境基本条例に基づく基本的かつ重要な事項の審議及び環境保全全般にわたる施策の円滑な推進を図ります。また、県民が一体となって進める環境保全に関する県民運動に参画し、普及啓発を推進します。						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○報酬（環境審議会委員報酬）2回開催 147千円</li> <li>○需用費 157千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・食糧費（環境審議会お茶代） 3千円</li> <li>・印刷製本費（環境白書作成 写真、グラフ等掲載） 154千円</li> </ul> </li> <li>○負担金（環境ふくい推進協議会負担金） 100千円</li> </ul>						

【事業の概要】

【事業のコスト】

【事業の成果】

すぐに行ける改善提案	環境保全全般にかかる様々な情報の収集に努めるとともに、市民への周知について適時行っていきます。		
目標年度 平成27 年度			
取組状況	収集した情報を整理し、ホームページに掲載しました。		
中長期的に取り組むべき改善提案	環境基本計画の見直し内容を踏まえたうえで、環境保全活動事業の推進を図っていきます。		
目標年度 平成30 年度			
取組状況	環境基本計画の見直し内容に沿って、環境保全活動事業を推進していきます。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【所属長評価】

予算	款	衛生費	項	保健衛生費	目	環境保全費				
コスト	事業費	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度		
		報酬	147千円	175千円	千円	千円				
		委託費	千円	千円	千円	千円				
		需用費	157千円	5千円	千円	千円				
		役務費	千円	千円	千円	千円				
		その他	100千円	100千円	千円	千円				
		事業費合計	404千円	280千円	千円	千円				
	人件費	正職員	0.29人	2,038千円	0.28人	1,991千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.29人	2,038千円	0.28人	1,991千円	人	千円	人	千円
	総事業費	2,442千円	2,271千円	千円	千円					
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円			
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円				
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円				
地方債		千円	千円	千円	千円					
その他		50千円	千円	千円	千円					
一般財源		2,392千円	2,271千円	千円	千円					
財源合計		2,442千円	2,271千円	千円	千円					

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	環境基本条例に基づき継続します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	条例に基づいて施策等を推進していかなければならないので、市以外には考えられません。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	必要最小限のコストで事業を行っています。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現行体制を維持します。			
すぐに行ける改善提案	環境保全全般に係る情報収集に努めるとともに、市民への周知も適時行っていきます。			
目標年度 平成27 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	環境基本計画の見直し内容を踏まえ、環境保全活動の推進を図っていきます。			
目標年度 平成31 年度				

指標名	単位	年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度
成果	市町環境連携事業	団体数	目標値 1 達成率	1 達成率	1 達成率	1 達成率
		実績値	1 100	1 100	1 100	1 100
活動	環境審議会開催回数	回数	目標値 2 達成率	2 達成率	2 達成率	2 達成率
		実績値	2 100	2 100	1 50	1 50
			目標値	達成率	達成率	達成率
			実績値			
			目標値	達成率	達成率	達成率
			実績値			
			目標値	達成率	達成率	達成率
			実績値			

事務事業名	環境基本計画推進事務事業			事業コード	04010410101
所管部署	環境推進課	電話	50-3032	記入者名	持川 浩一郎
事業対象	市民				
総合計画	基本構想	美しい自然と共生するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	自然環境の保全と共生		事業種別	ソフト事業
実施主体	その他	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	環境基本計画推進活動
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	有 坂井市環境基本計画				
事業の目的・事業の概要等	環境基本計画の中間点検を行いこれまでの進捗状況の把握及び今後の施策の見直し等を検討し、自然環境保全事業などの基本施策を推し進め、市の目指す環境像の実現に向け環境基本計画の推進に取り組みます。				
	○需用費（食糧費：お茶代） 9千円 ○委託料（環境基本計画推進事業企画運営委託料） 1,500千円 ○負担金 739千円 ・環境自治体会議負担金 50千円 ・生物多様性保全活動支援事業市負担金 689千円 （陣ヶ岡丘陵地域生物多様性保全協議会活動支援）				

すぐに行ける改善提案	市民の環境意識の向上に向けた取り組みを強化します。		
目標年度 平成26 年度			
取組状況	市民向けの環境講座を開催し、意識の向上に努めました。		
中長期的に取り組むべき改善提案	環境基本計画の中間見直しの結果を踏まえ、今後、市の将来の環境像の実現に向けた施策に取り組んでいきます。		
目標年度 平成30 年度			
取組状況	坂井市環境基本計画に基づき、住民意見を踏まえながら環境基本計画推進団体と協働し施策展開を行っていきます。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

【担当者評価】

予算	款	衛生費	項	保健衛生費	目	環境保全費				
コスト	事業費	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	1,500千円	2,568千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	9千円	12千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	739千円	856千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	2,247千円	3,436千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.85人	6,043千円	0.85人	6,043千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.85人	6,043千円	0.85人	6,043千円	人	千円	人	千円
	総事業費	8,290千円		9,479千円		千円	千円	千円	千円	
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円			
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円			
地方債			千円	千円	千円	千円				
その他			千円	千円	千円	千円				
一般財源		8,290千円		9,479千円		千円	千円			
財源合計		8,290千円		9,479千円		千円	千円			

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	環境基本計画に沿った施策を継続します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	市と環境保全団体の協働により実施していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	必要最小限のコストで効果的な事業運営を行います。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状の体制を維持します。			
すぐに行ける改善提案	環境保全団体が取り組んでいる事業活動などについて、市民への周知や参加の呼びかけを行う等で活動の輪を広げていきます。			
目標年度 平成26 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	環境基本計画の見直しの結果を踏まえ、今後市の将来の環境像「彩豊かな自然を育むひと まち さかい」の実現に向けた施策に取り組んでいきます。			
目標年度 平成31 年度				

【所属長評価】

指標名	単位	年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度				
成果	環境基本計画の推進度	目標値	80	達成率 80	70	達成率 60				
		実績値	65	81.25	60	75	50	71.43	40	66.67
活動	環境フォーラム参加者数	目標値	250	達成率 250	250	達成率 200				
		実績値	360	144	50	20	200	80	400	200
		目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
		実績値								
		目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
		実績値								
		目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
		実績値								
		目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
		実績値								

【事業の概要】

【事業のコスト】

【事業の成果】

事務事業名	地球温暖化防止対策事業			事業コード	04010410106		
所管部署	環境推進課	電話	50-3032		記入者名	持川 浩一郎	
事業対象	市民、事業者						
総合計画	基本構想	美しい自然と共生するまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	自然環境の保全と共生			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託		委託内容	庁舎省エネルギー調査管理サポート	
根拠法令	有	エネルギーの使用の合理化に関する法律、地球温暖化防止対策の推進に関する法律					
根拠例規	無						
関連計画・マニュアル	有	省エネルギー管理中長期計画、坂井市環境基本計画					
事業の概要	市自らが率先して地球温暖化防止に取組むとともに、市内事業所及び市民に対し、広く地球温暖化対策及び再生可能エネルギーに関する情報提供と周知、啓発していくことで、市内から排出される温室効果ガスの排出量削減を図り、かつ、地域の特性を生かした再生可能エネルギーの普及推進に努めます。						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○旅費（エネルギー管理講習会参加旅費） 9千円</li> <li>○需用費（印刷製本費） 93千円</li> <li>○役務費（電気自動車保険料） 47千円</li> <li>○委託料（省エネ推進コンサルティング業務委託料） 454千円</li> <li>○使用料及び賃借料（有料道路通行料） 6千円</li> <li>○負担金・補助及び交付金 4,908千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・負担金（エネルギー管理講習会負担金） 17千円</li> <li>・補助金（住宅用太陽光発電導入促進事業費補助金） 4,891千円</li> </ul> </li> </ul>						

予算	款	衛生費	項	保健衛生費	目	環境保全費				
コスト	事業費	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	454千円	11,108千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	93千円	95千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	47千円	67千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	4,923千円	7,039千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	5,517千円	18,309千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.70人	4,976千円	0.70人	4,976千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.70人	4,976千円	0.70人	4,976千円	人	千円	人	千円
	事業費	総事業費	10,493千円	23,285千円	千円	千円	千円	千円		
		特定財源	国県支出金	千円	10,647千円	千円	千円	千円	千円	
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
地方債			千円	千円	千円	千円	千円	千円		
その他			千円	千円	千円	千円	千円	千円		
一般財源		10,493千円	12,638千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計	10,493千円	23,285千円	千円	千円	千円	千円				

成果	指標名	単位	年度	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
市民一人当たりの年間CO2排出量		t	目標値	2.28	達成率	1.85	達成率	1.85	達成率	1.85	達成率
			実績値		---	2.29	123.78	2.36	127.57	2.33	125.95
ライトダウンキャンペーン参加事業所数		人	目標値	200	達成率	200	達成率	250	達成率	250	達成率
			実績値	72	36	91	45.5	96	38.4	85	34
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

すぐに行ける改善提案	エコdeお得キャンペーンやライトダウンキャンペーンなど市が実施する地球温暖化防止対策事業への参加社数増大を目指します。		
目標年度 平成28年度			
取組状況	広報等を通じ市内各事業所、店舗へのキャンペーン参加を促すとともに、市、事業者、市民それぞれが協力し合える内容への見直しを図りました。		
中長期的に取り組むべき改善提案	再生可能エネルギーの実証結果をもとに、利用可能な個々のエネルギーにおいて、採算ベース等も考慮した中でより具体的な取り組みについて検討します。		
目標年度 平成29年度			
取組状況	国、民間などからの情報収集を行いながら、社会情勢、コストに見合った再生可能エネルギー設備導入事業を検討していきます。		

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

事業の方向性	改善して継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	国・県等の支援を受けながら、再生可能エネルギーの推進普及に取り組めます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	市が実施主体となります。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	必要最小限のコストで効果的に運営します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	現状の体制を維持します。			
すぐに行ける改善提案	エコ活動に対し、企業の賛同を得るための方策を検討し、市全体での取り組みにしています。			
目標年度 平成28年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	太陽光発電補助については、国や県の補助制度が廃止や縮小していく現状において、市としても今後の対応について検討する必要があります。再生可能エネルギーの促進面からは、太陽光以外の再エネの取り組みについても検討していきます。			
目標年度 平成31年度				

【事業の成果】

【前年度改善案に対する取組状況】

【担当者評価】

【所属長評価】



事務事業名	海ごみ川ごみプラットフォーム・さかい事業			事業コード	04010410111
所管部署	環境推進課	電話	50-3032	記入者名	持川 浩一郎
事業対象	市民				
総合計画	基本構想	美しい自然と共生するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	自然環境の保全と共生		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	有	坂井市環境基本計画			
事業の目的・事業の概要等	自然豊かな水辺環境を将来世代へ確実に引き継いでいくため、自治会やボランティア団体、事業者及び関係機関と情報を共有し連携した取組みを進める「プラットフォーム・さかい」を組織し、市内の水辺美化促進や生態系の保全を図ります。				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○報償費（対策検討委員謝礼） 8千円</li> <li>○需用費 33千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・消耗品費（啓発活動消耗品費） 30千円</li> <li>・食糧費（ごみ一掃統一行動時賄他） 3千円</li> </ul> </li> <li>○委託料（一般廃棄物収集運搬委託料） 136千円</li> </ul>				

【事業の概要】

すぐにできる改善提案	地元住民に対して本事業の周知および参加区数の増大を目指します。
目標年度 平成27 年度	
取組状況	ホームページ等での広報活動、区長への働きかけを行い実施しました。
中長期的に取り組むべき改善提案	今後は、市民や各種団体等が、自主的な清掃活動に取り組んでいただけるような体制づくりの構築を目指します。
目標年度 平成29 年度	
取組状況	市内の河川ごみの現状を調査しホームページ等で掲載することで市民の意識啓発を図り、またワークショップを通して地元への清掃協力の働きかけを行っていきます。

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

予算	款	衛生費	項	保健衛生費	目	環境保全費				
コスト	事業費	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	136千円	186千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	33千円	57千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	8千円	18千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	177千円	261千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	1.05人	7,464千円	1.04人	7,393千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	1.05人	7,464千円	1.04人	7,393千円	人	千円	人	千円
	事業費	総事業費	7,641千円	7,654千円	千円	千円	千円	千円		
		特定財源								
		国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
分担金・負担金		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
地方債		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
その他		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源	7,641千円	7,654千円	千円	千円	千円	千円				
財源合計	7,641千円	7,654千円	千円	千円	千円	千円				

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	市内の水辺の美化促進や生態系保全のために継続します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	区や団体等と協力して実施します。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	最小の経費で実施していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現在の体制を維持します。			
すぐにできる改善提案	川等がない地域におけるこの活動への関わり方などを検討していきます。			
目標年度 平成27 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	市民や各種団体等が、自主的な清掃活動に参加、取り組んでいただけるような体制づくりの構築を目指します。			
目標年度 平成30 年度				

【所属長評価】

指標名	単位	年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度
成果	一掃統一行動時の参加者数	目標値	3000	3000	1000	500
		実績値	2000	2000	2000	2000
活動	回収した漂着ごみの量	目標値	14.0	15.0	15.0	10.0
		実績値	12.0	14.0	12.0	17.0
		目標値				
		実績値				
		目標値				
		実績値				
		目標値				
		実績値				

【事業の成果】

事務事業名	クリーンキャンペーン事業			事業コード	04010410116		
所管部署	環境推進課	電話	50-3032	記入者名	佐藤 貴史		
事業対象	市民						
総合計画	基本構想	美しい自然と共生するまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	自然環境の保全と共生			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	無						
根拠例規	無						
関連計画・マニュアル	有 坂井市環境基本計画						
事業の目的・事業の概要等	身の回りの環境について特に関心を持ち考える環境月間の6月に、市内全域で一斉清掃活動を行う「坂井市クリーンキャンペーン活動」を実施することにより、市民一人一人の環境保全に対する関心や環境美化意識の醸成を図ります。						
	○委託料 480千円 ・一般廃棄物収集運委託料 385千円 ・処理困難物収集処分委託料 95千円						

【事業の概要】

すぐのできる改善提案	市内全部の自治体に参加していただけるように、広報活動や協力依頼を行います。		
目標年度 平成27 年度			
取組状況	受付期間を過ぎて申し込みのあった自治体についても可能な限り対応し、多くの協力を得て清掃活動を実施しました。		
中長期的に取り組むべき改善提案	市の行事である「古城マラソン」と清掃活動の統一行動日が重複しているが、行動日が定着してきていることもあり統一することはなかなか難しいと思われるので、日程にこだわらず、地域や各種団体等が実情に合わせた自主的な活動ができるよう検討します。		
目標年度 平成30 年度			
取組状況	統一行動日以外に実施される自治体や参加を表明した団体に対してもごみ袋の提供を行うなど、地域環境美化に関し積極的に参加してもらえよう取り組んでいきます。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

予算	款	衛生費	項	保健衛生費	目	環境保全費				
コスト	事業費	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	480	千円	466	千円	千円	千円	千円	
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費合計	480	千円	466	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.77 人	5,474 千円	0.70 人	4,976 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.77 人	5,474 千円	0.70 人	4,976 千円	人	千円	人	千円
	総事業費	5,954	千円	5,442	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
使用料・手数料			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
分担金・負担金			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
地方債			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
その他			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
一般財源		5,954	千円	5,442	千円	千円	千円	千円	千円	
財源合計	5,954	千円	5,442	千円	千円	千円	千円	千円		

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	市と地域一体で環境美化推進を行っているので継続します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	市と地域の協働により実施していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	地域により時期や方法など差異はありますが、現状の範囲で実施していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	支所市民課と連携して実施します。			
すぐのできる改善提案	市内全地域が参加してもらえるように、広報活動や協力依頼を行います。			
目標年度 平成27 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	6月の第一日曜日が統一行動日として認知されてきたことで、多くの地区で清掃活動を実施していただいているが、日時等にこだわらず実情に合わせた自主的な活動を実施していただくことで、市内全地域が清掃活動ができるように検討します。			
目標年度 平成30 年度				

【所属長評価】

指標名	単位	年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度		
成果	清掃活動（クリーンキャンペーン）参加者数	目標値	10000	達成率 10000	達成率 30000	達成率 30000		
		実績値	9571	95.71	7627	76.27	9700	32.33
活動	クリーンキャンペーン時ゴミ回収量（もやせるゴミ+もやせないゴミ）	目標値	3000	達成率 3000	達成率 3000	達成率 3000		
		実績値	4814	160.47	5584	186.13	4569	152.3
		目標値		達成率	達成率	達成率		
		実績値		達成率	達成率	達成率		
		目標値		達成率	達成率	達成率		
		実績値		達成率	達成率	達成率		
		目標値		達成率	達成率	達成率		
		実績値		達成率	達成率	達成率		

【事業の成果】

事務事業名	一般廃棄物収集処理事業			事業コード	04020100101
所管部署	環境推進課	電話	50-3032	記入者名	佐藤 康弘
事業対象	市民				
総合計画	基本構想	美しい自然と共生するまちづくり		事業区分	自治事務（義務的なもの）
	基本計画	循環型社会の構築		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	一般廃棄物の収集運搬・処理業務
根拠法令	有	廃棄物の処理及び清掃に関する法律			
根拠例規	有	坂井市廃棄物の処理及び清掃に関する条例			
関連計画・マニュアル	有	坂井市一般廃棄物処理基本計画			

【事業の概要】

一般廃棄物の適正な分別、収集・運搬、処分等により公衆衛生の向上を図るとともに、リデュース（廃棄物の発生抑制）、リユース（再利用）、リサイクル（再生利用、再資源化）の3Rを推進し、循環型社会の構築を図る。

◆一般廃棄物収集処理事業

- 報償費
  - ・環境指導員活動謝礼 10,587千円
  - ・廃棄物減量等推進審議会委員謝礼 148千円
- 旅費
  - ・特別旅費 36千円
- 需用費
  - ・消耗品費（ごみ袋等作成費他） 43,872千円
  - ・印刷製本費（ごみカレンダー印刷費） 1,047千円
- 役務費
  - ・ごみ袋等取扱い手数料他 13,850千円
- 委託料
  - ・一般廃棄物収集運搬委託料 240,502千円
  - ・大型廃品特別収集委託料 9,121千円
  - ・計画策定業務委託料 1,080千円
  - ・夏季特別塵芥収集委託料（三国） 1,345千円
  - ・指定収集袋等保管配送業務委託料他 1,292千円
- 負担金及び補助金
  - ・清掃センター負担金 522,608千円
  - ・資源（古紙類）回収奨励金 11,154千円
  - ・除塵機維持管理負担金 2,693千円
  - ・ごみステーション設置補助金 1,953千円
  - ・魚腸骨収集運搬事業費補助金 579千円

予算	款	衛生費	項	清掃費	目	塵芥処理費							
【事業のコスト】	コスト	事業費	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度				
			報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			委託費	253,340	千円	245,543	千円	千円	千円	千円			
			需用費	44,919	千円	37,509	千円	千円	千円	千円			
			役務費	13,850	千円	11,849	千円	千円	千円	千円			
			その他	549,758	千円	669,560	千円	千円	千円	千円			
		事業費合計	861,867	千円	964,461	千円	千円	千円	千円				
		人件費	正職員	3.41	人	24,242	千円	3.15	人	22,393	千円	人	千円
			臨時職員	0.00	人	千円	0.00	人	千円	人	千円	人	千円
			人件費合計	3.41	人	24,242	千円	3.15	人	22,393	千円	人	千円
	事業費	総事業費	886,109	千円	986,854	千円	千円	千円	千円	千円			
		特定財源	国県支出金	千円	20	千円	千円	千円	千円				
			使用料・手数料	149,902	千円	165,559	千円	千円	千円				
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円						
			地方債	千円	千円	千円	千円						
その他			5,682	千円	5,503	千円	千円	千円					
一般財源	730,525	千円	815,772	千円	千円	千円							
財源合計	886,109	千円	986,854	千円	千円	千円							

	指標名	単位	年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	
成果	市民1人1日あたりごみ排出量	g	目標値	846	達成率	846	達成率	
			実績値	896	105.91	886	104.73	885
成果	市民1人あたりのごみ処理経費	円	目標値	10000	達成率	10000	達成率	
			実績値	8994	89.94	10056	100.56	9285
活動	集団回収資源回収量	kg	目標値	2500	達成率	3500	達成率	
			実績値	2023	80.92	2162	61.77	2888
活動	リサイクル率	%	目標値	17	達成率	23	達成率	
			実績値	13.8	81.18	14.5	63.04	14.9
活動	粗大ごみ回収事業回収量	t	目標値	330	達成率	340	達成率	
			実績値	302	91.52	327	96.18	327
			目標値		達成率		達成率	
			実績値					

すぐできる改善提案	一般廃棄物の減量化、リサイクル率向上のため、市、市民、事業者が取り組むべき事項を整理し、施策化および市民等への働きかけを行います。また、地区の負担金及び業者への委託料の設定には、トラック台数を用いているが、重量による負担金等の設定導入を検討します。
目標年度 平成27 年度	
取組状況	平成22年に策定した一般廃棄物処理基本計画を平成26年度に見直しを行い、市、市民、事業者がごみ減量化のために取り組む事項を整理しました。
中長期的に取り組むべき改善提案	・特別集積地制度の見直し等により、事業者等がごみ分別に取り組める環境を整えます。
目標年度 平成30 年度	
取組状況	・現在の制度による負の影響を廃棄物収集業者からのヒアリング等により把握しました。

【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない
【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	B
【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる
【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	C
【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき
【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

事業の方向性	改善して継続します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	一般廃棄物の適正な処理を行うことで、公衆衛生の向上が図られるとともに、循環型社会の構築のためにも事業継続します。なお、粗大ごみ回収事業に係る地区の負担金及び業者への委託料の設定には、トラック台数を用いているが、重量による負担金等の設定導入を検討します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	廃棄物処理及び清掃に関する法律により定められているので市が行います。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	事業系ごみが増加してきていますが、最小のコストで最大の効果が挙げられるようにします。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	事務の効率化を図り、現状体制で維持します。			
すぐできる改善提案	一般廃棄物処理基本計画の改定に沿った、ごみ減量化の取り組み等を市民や事業者に周知していきます。環境指導員のあり方を見直し、リサイクル率の向上に取り組んでいきます。			
目標年度 平成28 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	一般廃棄物処理基本計画の改定のなかで、見直しを行ったごみ減量に関する目標値を達成するための、様々な施策の具体的実施方法について取り組んでいきます。清掃センター搬入手数料及び特別集積地手数料について見直しを行います。			
目標年度 平成29 年度				

【事業の成果】

事務事業名	坂井地区広域連合事業（環境衛生）			事業コード	04020200101
所管部署	環境推進課	電話	50-3032	記入者名	津田 金也
事業対象	構成市住民、利用者				
総合計画	基本構想	美しい自然と共生するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	循環型社会の構築		事業種別	ソフト事業
実施主体	その他	実施手段	業務の全部を委託	委託内容	し尿の収集運搬・処理業務
根拠法令	有	廃棄物の処理及び清掃に関する法律			
根拠例規	有	さかいクリーンセンターの設置及び管理に関する条例 ・同施行規則			
関連計画・マニュアル	無				

【事業の概要】

坂井地区広域連合で、坂井市、あわら市管内のし尿及び浄化槽汚泥の適正な収集・運搬及び処分等の処理を行うことで、環境衛生の向上を図る。また、さかいクリーンセンターの供用開始により事業運営を特別目的会社（SPC）に委託していることから、モニタリング機能を強化していく。

○負担金 77,173千円

坂井市負担分	
・均等割（10%分）	5,857千円
・投入量割（90%分）	71,316千円
合計	77,173千円

【事業の目的・事業の概要等】

すぐのできる改善提案	特別目的会社に対し、モニタリング機能を強化させながら業務運営に活かします。
目標年度 平成26 年度	
取組状況	公衆衛生の推進、民間業者に業務を委託している施設の運営等が適正に実施されるよう構成市として確認を行いました。
中長期的に取り組むべき改善提案	下水道の普及により、し尿・浄化槽汚泥の排出量が減少しています。今後も人口減少等により減少すると予想されますが、それによる市民からのニーズ、事業者からの現状や課題を調査するとともに、し尿収集運搬体制等の見直しも検討する必要があります。
目標年度 平成30 年度	
取組状況	事業報告やモニタリング等の結果を確認しながら、今後、事業の執行状況を検討していきます。

【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A	
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B	
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A	
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

予算	款	衛生費	項	清掃費	目	し尿処理費						
【事業のコスト】	コスト	事業費	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度			
			報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			その他	77,173 千円	71,584 千円	千円	千円	千円	千円			
			事業費合計	77,173 千円	71,584 千円	千円	千円	千円	千円			
			人件費	正職員	0.15 人	1,066 千円	0.15 人	1,066 千円	人	千円	人	千円
				臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
				人件費合計	0.15 人	1,066 千円	0.15 人	1,066 千円	人	千円	人	千円
	事業費	特定財源	総事業費	78,239 千円	72,650 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
その他			1,804 千円	2,134 千円	千円	千円	千円	千円				
一般財源			76,435 千円	70,516 千円	千円	千円	千円	千円				
財源合計	78,239 千円	72,650 千円	千円	千円	千円	千円						

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	衛生面等からも必要なので継続します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	公衆衛生上からも公益性が高いので、このまま実施します。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	広域連合で効果的・効率的に運営されています。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現行を維持します。			
すぐのできる改善提案	現在事業運営している特別目的会社に対し、モニタリング機能を強化させ、その結果に基づいた運営を行わせませす。			
目標年度 平成28 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	年々排出量が減少して行く中で、市民のニーズや事業者の現状、課題等について調査するとともに、し尿収集運搬体制等の見直しも検討していきます。			
目標年度 平成31 年度				

【事業の成果】	成果	負担金	指標名	単位	年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度				
			目標値	千円	100000	達成率	100000	達成率	100000	達成率	191834	達成率	
	実績値	77173	77.17	71584	71.58	95695	95.69	141695	73.86				
	活動	し尿処理量	指標名	単位	目標値	10000	達成率	10000	達成率	11800	達成率	11900	達成率
					実績値	9738	97.38	9793	97.93	10790	91.44	11488	96.54
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率		
			実績値		達成率		達成率		達成率		達成率		
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率		
			実績値		達成率		達成率		達成率		達成率		
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率		
			実績値		達成率		達成率		達成率		達成率		
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率		
			実績値		達成率		達成率		達成率		達成率		